

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度 : マスター

事業者名	株式会社九州日立システムズ
所在地	福岡市博多区博多駅南 2-12-22
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	情報通信業
電話番号	092-477-7220
ホームページ	https://www.kyushu-hitachi-systems.co.jp/

Well-being 向上 に向けた取組み	・休暇取得推奨日を設定し、休暇取得を促している ・残業抑制 ・健康経営の促進(ヘルスアッププロジェクト、ウォーキングラリーの実施等) ・ホワイト 500 の認定 ・コミュニケーション施策(ファミリーデーの開催、1on1 ミーティング実施等)		
アンケート実施	○	アンケートの 社内共有	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名：株式会社九州日立システムズ

カテゴリー	チェック項目	3側面該当			具体的な取組	関連する主なSDGs																	
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境が整備されている。		○	○	・多様な人材を採用し、一緒に働きながら活躍しやすい職場環境作りに取り組んでいる ・ダイバーシティの教育推進 ・障がい者に対して適切な設備(点字ブロック・多目的トイレ・スロープなど)の設置、必要な情報機器を準備し、円滑なコミュニケーションを図る取り組みを実施 ・60歳以上の高齢者の再雇用を積極的に実施している						○			○									
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・テレワーク(在宅勤務)の推進、時差出勤制度、フレックスタイムの活用など働き方の形態に選択肢がある ・子育て、治療(不妊治療含む)、介護との両立支援制度、福利厚生制度の充実						○			○									
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・ハラスメント防止、人権教育あり(e-ラーニング・事例を用いた討論会等) ・相談窓口、ホットラインがある						○			○		○							○
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・休暇取得推奨日を設定し、休暇取得を促している ・健康経営の一環で社内に測定機器を設置したり、健康づくりのためのwebサービスを提供したりイベントを開催したりしている →健康優良法人ホワイト500の認定を受けている ・長時間労働を是正するための具体的な取組みを行っている ・メンタルヘルスに関する研修を定期的に実施 ・保健師の常駐、健康相談室の設置 ・メンタルヘルス予防のシステムを導入している ・従業員支援プログラムを導入している(社外の相談窓口を設置)						○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・職種別、階層別など教育カテゴリーが詳細に分かれており、豊富に準備している ・資格取得を推奨し、表彰・奨励金の授与を行っている ・人材育成計画を立て、面談にて今後目指す姿を上長と共有し、成長について考える機会を提供している																		
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・古紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について分別を徹底 ・産業廃棄物と一般廃棄物も適切に分けて処理をしている ・古い作業服はリサイクル処理している ・プリント制限をかけ、無駄な印刷をなくしている ・業務で使用する紙は再生紙を購入して使用している ・全社員向けに廃棄物教育を実施している					○			○			○	○		○				
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・クールビズ/ウォームビズを取り入れ、冷暖房使用を抑えている ・こまめにフロアの電気を消したりして電力消費を軽減している ・社用車をハイブリットカーに替え、CO2排出削減に取り組んでいる ・LED照明を導入している ・拠点では再生可能エネルギーを利用している													○	○				
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・社外の清掃活動を実施(毎月実施。雨天を除く) ・グリーン調達の推進で環境に配慮した製品・サービスをお客さまに提供している ・社員の環境意識の向上の為に教育を継続的に実施している							○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・社内のトイレに再生水を利用している							○											
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・工程会議を開催し、安全性や品質の確認をしている ・品質を確認する部署を設置し、お客様へ提供する前に検査等を実施している ・コンプライアンスマネジメント会議を定期的に開催し、リスクの発生を未然に防ぐ取組みをしている					○								○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・DX、GXを通じてお客様の課題を含め社会課題解決に向けた取り組みをしている ・業務効率化を図るため、生成AIを活用している	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。		○		・個人情報保護のためのルールを設定 ・情報セキュリティに関して教育の実施、監査、対象となる情報機器の棚卸と管理を徹底している ・Pマークを取得している																	○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・法令遵守の徹底、ルール・方針の設定、教育の実施 ・法令遵守の重要性を従業員に発信している																	○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・経営トップから事業部、各部署で事業計画説明で社員の理解促進と一体感醸成 ・社内HPIに社長メッセージを掲載、いつでも誰でも見られる場所にある													○	○				○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・事業継続基本方針を設定している ・安否確認システムで、緊急時の連絡体制を整備している ・後継者の指導・育成に取り組んでいる															○			○